

## お知らせ

## 合同 WEB 就職説明会

関西鍼灸系大学間連携（関西医療・宝塚医療・森ノ宮医療・本学）における包括協定の取組みとして、毎年、合同就職説明会を実施しています。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、4大学合同としては初めてのWEB開催となりましたが、鍼灸・柔整関連企業67社、一般企業5社に参加いただき、本学からは、

鍼灸学科および柔道整復学科より51名が参加いたしました。

また、開催後のアンケートの結果から、次回WEBで開催となった場合でも参加者の半数以上が参加を希望しており、大規模な説明会としてWEBでの開催は初の試みであり次回への課題も多々ありますが、満足度は比較的高い結果となりました。

## 女子スポーツ学生寮避難訓練を実施

7月9日（土）女子スポーツ学生寮の避難訓練を実施しました。

寮内においてスモークマシンの、煙の中を避難し、消火訓練では実際に水消火器の体験を行い、その後に避難梯子を使用した救急救命学科の寮生3人による梯子準備方法、降り方体験を行いました。

訓練は救急救命学科教員の指導の下で行われ、避難訓練の講評の後、学生寮における火災の特長と避難における考え方、本学周辺で起こりうる地震の特徴、寮生に求める行動を教授いただき、寮生は実際に火災、地震が起こった場合に備え、熱心

に取り組みました。

終了後は、4年度新入寮生の歓迎会を実施し、充実した一日となりました。



## 南丹市消防団学生団員入団式及び辞令交付式を開催しました

7月19日（火）、本学において、南丹市消防団学生団員入団式及び辞令交付式が執り行われました。開式にあたり、南丹市消防団長様よりご挨拶があり、その後、学生団員を代表して救急救命学科3年生の山添裕生さんと森岡美羽さんに野中消防団長より辞令が交付されました。なお、今年度南丹市消防団に新たに27名の学生が入団しました。



## 七夕イベント～星に願いを届けよう～

6月29日（水）～7月7日（木）の期間、「明治国際医療大学七夕イベント～星に願いを届けよう～」と題し学生のみなさんに願い事を募集しました。

「国家試験合格」「消防本部に就職できますように」「再試になりませんように」「ウクライナの戦争が終わりますように」「ダイエットに成功しますように」「結婚したい」等々、期間中のイベントコーナーには、登校時から部活終わりの20時頃までたくさんの学生さんで賑わいました。それぞれの願いを短冊に込めて笹に飾る姿に、教職員一同、微笑ましい気持ちでいっぱいになりました。

7月7日、想いが詰まった509枚の短冊は七夕の夜を彩りました。

なお、短冊は、本学近隣の神社にてご祈祷いただきましたことをご報告いたします。



## 明治国際医療大学

看護学部[看護学科] \* 保健医療学部[救急救命学科・柔道整復学科] \* 鍼灸学部[鍼灸学科]  
大学院[鍼灸学研究所・保健医療学研究所]

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1181 FAX 0771-72-1189 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等教育評価機構より  
大学評価基準を  
満たしていると認定  
されました。

## 明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.23

大学情報誌



## ご挨拶

この2年間、対面授業をはじめ臨地実習および臨床実習を抑え、クラブ活動を制限し、多くの大学行事を中止してきました。令和4年度を迎え、ようやくCOVID-19の猛威が下火になってきたことから、対面授業やクラブ活動、そして練習試合・競技大会への参加を増やすなど、徐々に日常を取り戻すことができるようになってきました。社会活動においても制限されることなく、コロナ禍の前の状態に戻りつつあり、学生の顔には明るさが戻り、大学生活に活気がみなぎるようになってきました。

そのような矢先、オミクロン株のBA-5という新しい変異株が6月末に発生し、またたく間に全国に拡散、7月下旬には過去最大の感染者数に達しました。本学においても感染者が続出し、これまでなかったクラスターも発生するに至りました。そのような厳しい状況においても感染対策を励行しつつ、授業、実習、クラブ活動などを慎重に進めています。

学生にとっては、COVID-19の侵襲はまさに晴天の霹靂、予期せぬ事態に直面しています。4期生においては在学中の3年間でコロナ禍での大学生活、新入生においても高校生の時期を含めると今いる学生全員が同様の苦難に晒されています。このことは、教職員にとっても同じです。

こうしたピンチをどのようにチャンスに変えることができるのか、不確実で予測困難な時代に求められる生き抜く力を培うための試練として前向きに捉え、大学教育に当たっています。

下記の言葉は、インド独立の父で「非暴力、不服従」を唱えたマハトマ・ガンディーの格言です。令和3年度の卒業式の式次で卒業生に贈りました。

束縛があるからこそ、私は飛べるのだ。  
悲しみがあるからこそ、私は高く舞い上げられるのだ。  
逆境があるからこそ、私は走れるのだ。  
涙があるからこそ、私は前に進めるのだ。

本学は、医療系大学として医療人（コ・メディカル）の人材養成とスポーツ振興を基本方針としています。令和4年度の入学生の人数は過去最高で、多くの学生が本学の門をくぐってくれました。学生一人ひとりの思いを尊重しつつ、コロナ禍という厳しい状況下においても、ガンディーの格言が示すように、どのような試練にあっても強く生き抜く力を涵養し、望んだ道を歩くことができるように教職員一丸となって取り組んでまいります。

最後になりますが、教育振興会のご理解とご支援により、学修支援センターの学習環境を整備することができました。センター内では多くの学生が交流し、活発に活動しています。心より感謝申し上げます。



学長 矢野 忠

## 鍼灸学部 鍼灸学科

### 2022年度新学期スタート!!

現在、1年生は解剖学や生理学、経穴学と基礎的な知識を中心とした学習をしており、2年生に向けて勉強に励んでいます。2年生では1年生で学んだことを応用した疾患についての授業が進んでおり、実技授業が増え本格的に治療技術を学んでいます。3年生では国家試験に対応した授業内容となっており、定期的に模擬試験を行い徐々に国家試験に向けた勉強が本格化しています。教員室の近くに勉強のできる場所を確保し、放課後に残って国家試験勉強をする学生も増えてきました。4年生では就職活動が本格化してきており、はり師・きゅう師免許取得を生かした実技実習やゼミなどの活動により、鍼灸師として活動する際に必要なことを深く掘り下げて学んでいっています。

今年度から、鍼灸学部の学生をさまざま面でサポートしてくれる教務助手の宮城 凌央先生、川口愛華先生が加わりました。若い2人の先生は、1・2年生の勉強が苦手な学生に勉強方法をわかりやすく教えたり、3年生の学生には自分自身の経験をもとに国家試験の勉強のコツを伝えたり、4年生には治療院の選び方や面接など学生の相談にのってくれています。鍼灸学部教員、教務助手一丸となって、学生をサポートしていきます。

#### 宮城 凌央先生から一言



解剖学、生理学などを中心に一緒に授業を受けて、わからない所があれば一緒に考えています。

(明治東洋医学院専門学校 鍼灸学科 2021年度卒)

#### 川口 愛華先生から一言



授業でわからないことはもちろんのこと、勉強が苦手な学生には勉強が楽しいと思ってもらえるよう工夫をしてサポートしていきたいと思っています。

(明治国際医療大学 鍼灸学部 2020年度卒)

#### 学生からの声

先生が近くに居てすぐに質問できる環境があるので、とても勉強しやすいです。



## 保健医療学部 柔道整復学科

### コロナ禍での合同就職説明会・農業体験学習を通して地域交流

#### 合同就職説明会

5月28日(土)、本学8号館において合同企業説明会(鍼灸学科・柔道整復学科)を開催しました。3密を避ける感染対策を維持しながらの開催となりました。各企業のブースは、1.5mの間隔を取り11号教室と13号教室、そしてエントランスホールを利用して、合計25社の設営をしました。

当日の学生参加者は、当初の予想を上回る、事前登録人数の50名以上が参加しました。

学生達は意欲的に多くの企業の説明を聞いて、実際に治療院に見学の予定を決め、就職活動の良い刺激になったと考えます。

#### 合同就職説明会



#### 南丹市美山町で農業体験



#### 南丹市美山町で農業体験

大学のある京都府南丹市の自然豊かな立地条件を生かして、昨年度より美山町で農業体験を実施しています。美山町は京都府の中央に位置し、大学から30分の場所に位置します。南丹市美山町は、かやぶき民家が代表する伝統的文化や芦生の森が象徴する豊かな自然に恵まれた地域です。柔道整復学科では、早期体験授業として4年間で学ぶこの南丹市を1年生に知ってもらうことを目的に、美山町で農業体験をおこないました。米作り体験をおこない泥まみれになり、また鶏の解体をとおして、食と命が深く関わっていることを体感し、自然や食べ物への感謝や生命の尊さを学ぶことができ、由良川に入りながら地域の方とコミュニケーションをとり、南丹市について学ぶ事が出来て、有意義な実習となりました。

## 保健医療学部 救急救命学科

### 夢に向かって!

#### 新たに90名の仲間が参加

本年度は4月から完全対面授業が再開されました。新入生90名(男子71名、女子19名)が救急救命士を目指して門出を迎えています。新天地で少しの緊張と多くの期待を胸に入學式を迎えた日から、早いもので3ヵ月が経ち、大学生活にも少しずつ慣れてきたところかと思えます。初めての医療分野の学修に苦戦している部分もあるようですが、今後を占う初めての期末試験に向けて、日々学修に励んでおります。

2年生は1年次に学んだ内容を駆使しながら、新たなカリキュラムの中で充実した日々を過ごしています。3年生はすでに卒業研究に向けた取り組みが始まっており、最終学年に向けた助走をつけています。

4年生は卒後の希望進路を達成するためにラストスパートをかけています。本年度からキャリア支援センターからの就職活動支援がより強化され、学生にとって必要な求人情報が入手しやすい環境が構築されました。また、通常授業の他に、週2回の公務員試験対策講座(課外授業)が開講され、学内での就職活動支援の充実が図られております。

学生の皆さまが充実した大学生活を送れるよう、教員一同サポートをしております。



規律訓練の様子



実習の様子

## 看護学部 看護学科

### 学生主体の交流会と専門性を高める学び

#### 看護学部3年生クラスアワー(学生交流会)

3年生は秋からの臨地実習に備え、学習準備をしています。チーム意識を高めるために学生主体でクラス交流会を行いました。感染対策を行った上でビンゴ大会が行われ、楽しい交流の時間を過ごしました。みんなで力を合わせ頑張りましょう!



#### 助産コース交流会とNCPR演習

3年生・4年生助産コースの学生は、助産師を目指して専門的な演習と勉学に励んでいます。4年生は臨地実習で多くの分娩介助実習を経験させていただきました。3年生は学内でNCPR(新生児蘇生法)演習に取り組みました。6月23日(木)には、3年生と4年生が交流会を行い、ディスカッションを通じてお互いの助産師を目指す決意を新たにしました。助産コースの卒業生は全員国家試験に合格し、臨床で活躍しています!



## 【附属東洋医学研究所 共同利用研究室の施設見学会実施】

5月17日から19日の3日間にわたり、附属東洋医学研究所 共同利用研究室の施設見学会が実施され、遺伝子関連物質解析室、MRセンター研究室を含めた8つの専門的な研究室を大学院生の新入生が見学しました。

### 見学会に参加した平岩慎也さん(1年生)に感想をお聞きしました。

私は兵庫県にある宝塚医療大学に入学しました。そこで緩和ケアを中心に鍼灸治療を行う治療院を見学し、緩和ケアに関わる鍼灸治療やこの領域の研究がしたいと思い、大学院への進学を決めました。本学に進学した理由は鍼灸の研究を行ってきた長い歴史があり研究環境が整っていると感じたからです。しかし実際に入学すると他大学から進学したこともあり具体的な研究設備が分からず不安がありました。そのような時に研究室施設見学があり、参加すると研究機材を実際に動かしながら各先生がどのような研究を行っているか説明を受けることができました。見学を通し、私自身の研究に生かせる機材や研究内容で困ったときにどちらの先生に相談に行くと良いかが分かり研究に対する不安もなくなりました。研究施設見学により様々な研究機材や研究に精通した多くの先生がいることが分かり、他大学からきた私にとって本学の研究環境を知ることができた良い見学でした。



研究機器の説明を受ける平岩さん

平岩さん、ありがとうございました。

## 【保健学専攻】

# 大学院保健医療学研究科保健学専攻を開設して

2022年4月大学院保健医療学研究科保健学専攻が開設されました。本専攻は、看護職（保健師、助産師、看護師）および他の医療職に門戸を開き、保健学を基盤として、①高度で実践的な研究力と研究成果の実装力を兼ね備えた多機能型医療専門職、②潜在的な健康課題の発掘と解決を推進できる次世代課題解決型医療専門職、③研究成果を地域に実装し「健康先進地域」をプロデュースできる研究成果実装型医療専門職の養成を目指しています。

今年度看護職2名が入学しました。臨床でのリサーチエッセンスを解明するため専門基礎科目・専門科目（図）を履修しながら論文抄読会にも参加しています。大学院生室や院生講義室等学習環境も整備された中、研究者として歩み始めました。在校生、卒業生、医療職の皆様、様々な分野の指導教員の下、現場で気づいたリサーチエッセンスの解明に挑んでみませんか。大きな可能性を秘めたあなたの新しい未来を拓く扉は身近にあります。

保健学専攻長 桂 敏樹



大学院生室



## 【柔道整復学専攻】

# 大学教員としての一步をスタート!!

私は、保健医療学研究科・柔道整復学専攻の修士課程終了後、本年度から教員として在籍しています。修士課程では三角巾の巻き方が体にどのような影響を及ぼすのか、研究しました。その研究成果が教員1年目で早速「包帯・固定学総論」という授業で、役に立ちました。研究中には感じなかった事が、授業の現場で包帯を巻く際の注意点や工夫すべき点など、教科書に載っていることの意味が真に理解して、学生達に伝える事が出来ました。また、「包帯学実習」という実際に包帯を巻いていく授業では、在校生時代は単に巻き方やテクニックを教えるだけの授業と考えていましたが、そうではなく科学的な根拠に基づいて、患者さんための三角巾固定の工夫など伝授する事が出来ました。そして学生が患者さんの立場になって三角巾を巻かれたとき、自分の体でその違いを実感してくれた事は、修士課程でこの研究に関わって本当に良かったと感じています。更に、大学教員としての研修は、先輩教員の先生方の授業を積極的に見学し、教え方のコツや工夫点などを質問し、先生方から快く詳細な説明と指導をして頂き、多くの事を学んでいます。これらの指導は、自分が授業をする際に大いに役に立っております。大学教員として1年目で未熟者ですが、学生に最大の価値提供ができるよう、私自身も日々勉強し、精進して参ります。

柔道整復学科 助教 村迫 萌生



## 女子柔道部 全日本学生柔道優勝大会でベスト16

2022年6月25、26日(土・日)の2日間、団体戦の2022年度全日本学生柔道優勝大会(男子71回、女子31回)が東京の日本武道館で行われました。連覇を目指した5月の第30回関西学生女子柔道優勝大会で龍谷大学に1-2で惜敗し準優勝に終わっていた本学女子柔道部。1回戦で鹿屋体育大学を2-1、2回戦で帝京科学大学を3-0で下し、ベスト8進出を賭けて迎えた3回戦は、学生日本代表選手を数多くそろえる強豪の山梨学院大学と対戦。次鋒の野崎偉万里選手(救急救命学科3年・比叡山)が技ありを奪いリードするも大将の新名々々選手(柔道整復学科4年・夙川学院)が終了間際に反則を取られ1-1の内容負けで、惜しくも上位進出を逃しました。個人では、7月3日(日)に行われた第16回近畿ジュニア柔道体重別選手権大会で4人が優勝、計6人が9月に予定されているJOCジュニアオリンピックカップ2022年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会の出場を獲得し、全国の強豪に挑みます。



全国大会で健闘した選手たち  
上段左から：高木・三谷・川口・新名選手  
下段左から：山本空・足達・野崎・山本楓選手



賞状を手に入れている選手が全国大会出場  
上段左から：川口・井上・白石・関根・精松選手  
下段左から：宮城・嶋田・高木・松浦・横守選手

## 女子サッカー部 2期連続の2位と健闘

昨秋の2021年秋季リーグ(1部)で過去最高タイの2位となり全国大会に駒を進め、2年連続4度目となった全国で初のベスト8進出を果たしている本学女子サッカー部。新チームとなって臨んだ2022年春季リーグ(1部)は、5勝2敗(勝点15)の2位と健闘。全国がかかる秋季リーグに向け、課題の攻撃力が向上するなど高い総合力を示しました。



## 陸上競技部 U20日本選手権で3人が入賞

2022年6月9日(木)から12日(日)までの4日間、大阪市の長居スタジアムで行われた第106回日本陸上競技選手権大会と同時間開催の第38回U20日本陸上競技選手権大会に、本学陸上競技部から出場した3選手がそろって入賞する活躍を見せました。

大会2日目の男子ハンマー投(6kg)には中田アドリアン勝選手(柔道整復学科1年・大阪)が出場。大阪高校時代の昨年、8位に入っている中田選手は、地元の声援を背に力投。2投目に自己ベストの63m55を投げ前回は上回る5位入賞。続く大会4日目には、男子砲丸投(6kg)に奥村夏生選手(鍼灸学科1年・和歌山北)、同やり投に藤原翔真選手(柔道整復学科2年・洛東)が登場。奥村選手は、5投目に高校時代のベストを12cm更新する15m90をブツし8位。藤原選手は、4月にマークした自己記録を1m49cm更新する68m20をスローし5位入賞を果たしました。



藤原選手 中田選手 奥村選手

## 硬式野球部 硬式野球部が始動 初陣はリーグ4位

今年度から準硬式野球部を硬式野球部に変更。京滋大学野球連盟に所属し同2部リーグに参入した本学硬式野球部が、2022年度春季リーグ戦(2部)に出場し、初陣は4勝6敗の4位という結果でした。個人表彰として2部首位打者賞および新人賞、ベストナイン(三塁手)に石本侑大選手(鍼灸学科2年・飾磨)、ベストナイン(二塁手)に宮地大征選手(柔道整復学科4年・鶴城丘)がそれぞれ選出されました。



# 学生生活の向上のために！



会長 伊部 正記

会長就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

平素は、振興会事業にご協力ご支援を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。昨年度に引き続き、教育振興会会長を仰せつかりました。何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナの問題もいまだ収束が見えず不安なことですが、大学教職員の先生方には、常に学生目線にあわせた教育をしていただいております。心から感謝をしております。

コロナ禍では、同じ空間での共有に乏しく、学生にとっては本来の活発な学生生活、学生交流がしばらく続いている状況が続いていますが、学修支援センターでは自習室等々、学びの応援を担当の先生や学生間での充実した環境として整備されています。教育振興会といたしまして、こういった環境整備や部活動ほか教育研究活動等々へ積極的に支援をさせていただけたらと考えています。大学と教育振興会が両輪のごとく、学生生活の向上のために進んでいけるよう願っております。

どうぞ、本年度も従前以上のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

なお、今年度の教育振興会総会の開催の可否については、昨年度同様にコロナ禍の影響も鑑み、開催が困難と役員会にて判断いたしました。教育振興会規約第9条のただし書きにより、本役員会（令和4年7月16日開催：資料参照）をもって、総会に代えることといたしましたので、謹んでご報告を申し上げます。ご賢察の上、ご理解賜りますよう重ねてお願いいたします。

末筆になりましたが、会員の皆様には、ご自愛専一のほどお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## 令和3年度 明治国際医療大学 教育振興会【事業・収支報告】

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入の部		支出の部	
会費	11,410,000	教育・研究活動に関する支援	334,836
新入生 219名	10,950,000	クラス懇談会等支援金	327,686
新入生（編入） 2名	40,000	海外研修支援金	0
大学院（修士） 15名	300,000	学外研修会支援金	0
大学院（博士） 4名	120,000	資格取得支援金	7,150
受取利息	245	課外活動に関する支援	236,090
		課外活動支援金	236,090
		たには祭協賛金	0
		ボランティア活動支援金	0
		福利厚生費に関する支援	2,122,080
		100円朝食支援金	2,122,080
		慶弔・見舞金等	0
		学修環境整備に関する支援	3,558,377
		学修環境整備整備費	558,377
		学修環境整備積立金	3,000,000
		その他の経費	99,232
		会議費・役員交通費	24,073
		印刷・通信費	74,189
		事務経費	970
当期収入小計	11,410,245	当期支出小計	6,350,615
前期繰越金	9,433,985	次期繰越金	14,493,615
収入の部合計	20,844,230	支出の部合計	20,844,230

### 【期末預金の内訳】

次期繰越金	14,493,615円
学修環境整備費積立金	15,000,000円
計	29,493,615円

明治国際医療大学教育振興会  
会長 伊部 正記 殿

**監 査 所 見**

令和3年度収支計算について、必要な監査手続きを実施した。監査の結果、その内容は適正に表示されていることを認めます。

令和4年4月15日

監 事 広田 延孝  
監 事 山岡 一樹

## 令和4年度 明治国際医療大学 教育振興会【役員紹介】

任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日

役員	氏名
会 長	正会員（1名） 伊部 正記
副 会 長（2名）	正会員（1名） 新名 誠
	教職員（1名） 市川 哲
幹 事（若干名）	正会員（若干名） 中沢 真佐美、大門 美千代、久世 則子、田村 裕、金羽 美恵
	教職員（若干名） 河井 正隆、小川 豊清、伊藤 肇敏
会 計	正会員（1名） 豊田 和宏
	教職員（1名） 松原 亮二
監 事	正会員（1名） 広田 延孝
	教職員（1名） 藤井 義巳

朱字 新規役員

## 令和4年度 明治国際医療大学 教育振興会【事業計画・収支予算】

### 1. 事業計画

#### (1) 教育・研究活動に関する支援

- クラス懇談会等の開催や、海外研修、就職活動および資格取得等を支援
- ①クラス懇談会等の支援（飲食費の一部補助）1,500円×907名
- ②海外研修の支援（旅費の一部補助）5万円×15名
- ③資格取得の支援（技能検定等の一部補助）1万円（上限）×50名
- ④大学院生学会発表に対する支援 1万円（上限）×50名

#### (2) 課外活動に関する支援

- クラブ活動、ボランティア活動および大学祭等の大学行事への支援
- ①課外活動の支援（部活支援・応援バスの運行等）200万円
- ②たには祭の協賛金 50万円
- ③たには祭の金券補助 1,000円×300名
- ④ボランティア活動の支援（交通費・ボランティア保険の一部補助）10万円

#### (3) 福利厚生に関する支援

- 健康保持・増進のため100円朝食の提供など、福利厚生を支援

- ①食育の支援（朝食料金の一部補助）210円×月1,000食×10ヵ月
- ②アスリート食の支援（朝食料金の一部補助）50円×25日×月100食×12ヵ月
- ③卒業アルバム費用の補助 3,000円×200名
- (4) 学修環境の整備に関する支援
  - 学修環境充実のための備品、用品および出版物等の整備
  - ①学修支援センター複合機リース料、印刷代（コピーカード付500枚/人）120万
  - ②学修支援センター自習室パソコンの設置
  - ③自習室の整備及び図書への寄贈
- (5) その他
  - ①教育振興会会長表彰 15,000円×4学科
  - ②役員会への出席に伴う交通費の負担
  - ③役員会・総会の開催（案内状の印刷・発送・会議費等）
  - ④事業計画・収支予算および事業報告・収支決算の公表（印刷・発送）

### 2. 収支予算（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収入の部		支出の部	
会費	13,110,000	教育・研究活動に関する支援	3,110,500
新入生 253名	12,650,000	クラス懇談会等支援金	1,360,500
新入生（編入） 4名	80,000	海外研修支援金	750,000
大学院（修士） 19名	380,000	資格取得支援金	500,000
受取利息	250	大学院生学会発表支援金	500,000
		課外活動に関する支援	2,900,000
		課外活動支援金	2,000,000
		たには祭協賛金	500,000
		たには祭金券補助	300,000
		ボランティア活動支援金	100,000
		福利厚生に関する支援	4,300,000
		100円朝食支援金	2,100,000
		アスリート食支援金	1,500,000
		慶弔・見舞金等	100,000
		アルバム購入費用補助	600,000
		学修環境整備に関する支援	9,000,000
		自習室複合機リース・印刷代他	1,200,000
		学修支援センター自習室PC	800,000
		自習室整備費等	4,000,000
		学修環境整備積立金	3,000,000
		その他の経費	380,000
		教育振興会会長表彰	60,000
		会議費・役員交通費	140,000
		印刷・通信費	150,000
		事務経費	30,000
当期収入小計	13,110,250	当期支出小計	19,690,500
前期繰越金	14,493,615	次期繰越金	7,913,365
収入の部合計	27,603,865	支出の部合計	27,603,865